

## 解 答



問一 A 2 B 3 C 1

問二 ① すべてを能率的、事務的に手早く片づけるようになったこと

② 祭りを楽しむことや夢を見ること

問三 甘言で釣って時間を節約させ貯蓄させるというかたちで時間を奪うこと

問四 D 役に立つ E 時は金なり

問五 ④ ためになる遊び方をなろうこと ⑤ おもしろいかどうかということ

問六 人間一人一人の胸のなかにあり、生活そのものであるべき時間が、画一的になり冷たくなり、貧しくなるということ。

問七 動物園のなかを流れている時間

問八 こまかなところまでいたれりつくせりで完成されているため、子供がじぶんで空想を働かせる余地がまったくないから。

問九 一義的にしか見ないもののとらえ方

問十 時間の能率化ばかりを求めると、想像力や全体的直観、それらからでてくる創意や工夫を失う危険がある。



1 エ 2 サ 3 ツ 4 ケ 5 テ 6 タ 7 コ 8 ト 9 カ 10 キ

11 ア 12 ナ 13 ソ 14 セ 15 チ 16 ス 17 シ 18 オ 19 ク 20 イ



1 樹立 2 縦断 3 洗練 4 精算 5 取捨

6 危機 7 講義 8 暖〔める〕 9 束〔ねる〕 10 快〔い〕

## 解 説



出典は、中村雄二郎による論説文。ミヒヤエル・エンデの『モモ』を紹介しながら、能率化によって失われるものについて論じています。

問二 ①「それとともに彼はだんだん怒りっぽくなって落ち着きのない人間になってきた」ので、直前に書かれている「彼のやったこと（＝すべてを能率的、事務的に手早く片づけるようになったこと）」を答えます。②「そのことを思い出させる静けさに耐えられず、～」とあるので、人々ができなくなってしまったこと（＝祭りを楽しむことや夢を見ること）を直前から答えます。

問三 2 ページめの 2 行めに灰色の男たちのやっていることが、「人々を甘言で釣って時間を節約させ貯蓄させるというかたちで時間を奪う」と説明されています。

問四 パンチ・カードごっこは「とってもためになる」と、この前の部分で言っています。同じことを四字で表しているのが、（ D ）の直後の「役に立つ」です。おもしろいかどうかではなくて、将来の役に立つかが大事だとパラオやマリアは、モモに答えたのです。

問六 4 ページ終わりから 5 行めに「私たち人間一人一人の胸のなかにあり、生活そのものであるような時間は、どこでもいつでも斉一に流れているのではない」とありますが、時間を節約することで人々の生活は、「画一的になり冷たくなり貧しくなっていった（2 ページの最後から 3 ページ）」とあります。

問七 「前者」＝「厳密さを要求される抽象化された時間」＝「放送局のスタジオのなかを流れている時間」です。これと対比されているのは「動物園の中を流れている時間」＝「大まかで生活的、生命的な時間」です。

問八 子どもたちの玩具については、3 ページで「こまかなところまでいたれりつくせりで完成されているため、子どもがじぶんで空想をはたかせる余地がまったくない」と述べています。

問九 アナログ的な世界にあって中心的な役割を果たす「想像力や全体的な直観」は「創意や工夫」も生み出すものですが、それがデジタル化、時間の能率化とともに、失われかねないと筆者は警告しています。